

総長選考候補者への名大職組の質問

2008年7月30日

総長選考候補者 各位

名古屋大学職員組合
中央執行委員会

名古屋大学職員組合は今回の総長選挙に当たり、一次選挙により選出され、二次候補者となられた方々全員に下記のような質問をすることとしました。

質問のご回答は総長選考規程第12条に定められた、「委員会が定める様式により大学運営の考え方についての文書の提出を求め、学内に公表する。」とありますので、この文書の中でご回答願います。

記

1. 国立大学法人の今後のあり方について、どういうビジョンをお持ちですか。また、そのビジョンを実現するために、文科省との関係、国大協との関係、その他外部の諸機関とどのような折衝を行っていくことをお考えですか。
2. 名古屋大学における意思決定のあり方や総長としてのリーダーシップのあり方をどのようにお考えですか。
3. 名古屋大学の財政のあり方をどのようにお考えですか。
4. 名古屋大学の教育研究上の利点と弱点をどのようにお考えですか。それらを伸ばしたり、あるいは克服するためには何が必要とお考えですか。
5. 日本の将来の教育研究を担う人材をどのように育成していくことが望ましいとお考えですか。
6. 学生や院生の勉学条件の向上、学費免除や奨学金制度の充実等の学生生活に対する援助をどのようにしていこうと考えていますか。
7. 技術職員の役割についてどのようなお考えをお持ちですか。
8. 事務職員のあり方、キャリアアップについてどのようにお考えですか。
9. 名古屋大学には相当数の非常勤職員が勤務していますが、この人たちの勤務条件の向上をどのように実現していくご予定ですか。
10. 名古屋大学平和憲章についてどのようにお考えですか。またこれを名古屋大学の教育・研究にどのように生かすべきかをお聞かせください。